

オープンに向け 条例を制定

平成22年
12月定例会

12月定例会は、12月15日から17日まで3日間の会期で開かれました。
定例会では、専決処分の報告、条例制定、補正予算等の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。



茶道を学ぶ園児たち（棚倉幼稚園）

町文化財として指定されている棚倉藩ゆかりの茶室は、現在、城跡周辺への移築復元工事が行なわれております。町民に茶道やその他の伝統的な文化活動を行う場を提供し、町民の文化意識高揚に役立てるため、平成23年4月のオープンに向け条例が可決されました。

棚倉藩ゆかりの茶室才 棚倉町茶室条

今回の議会で決まったこと



◆**棚倉町茶室条例**
平成二十三年四月にオープンするため条例が制定されました。

◆**棚倉中学校耐震補強改修工事請負変更契約の締結**
過去に封じ込め、囲い込み工事を実施した

音楽室天井のアスベストが、長年の結露や雨漏り等により劣化し、飛散している状況が工事中に確認されました。生徒達が安心して学習できる施設環境を整備するため、アスベスト除去に伴う変更契約を締結しました。

◆**一般会計補正予算の主な内容**

財政調整基金の積み立て
1億9600万円
地方交付税の大幅な増額決定により、年々減少する基金に積み立てし、今後の財源調整に役立てます。

ルネサンス棚倉の施設修繕
1479万円

インドアプールの防水塗装、ろ過機交換、シャワーの給湯設備等の改修工事を行ないます。

健やか子育て医療費
1588万円

中学校三年生までの子ども医療費が不足するため増額となりました。

◆ 12月補正予算の状況

(1万円未満切捨て)



健やかな成長を願っています

会計名	補正額	補正後の予算額		
一般会計	2億653万円	52億8,016万円		
特別会計	国民健康保険	5,411万円	14億7,489万円	
	後期高齢者医療	225万円	1億1,901万円	
	介護保険	1,048万円	9億4,450万円	
	簡易水道事業	4万円	4,237万円	
	公共下水道事業	53万円	3億3,875万円	
	農業集落排水事業	112万円	6,593万円	
	霊園整備事業	20万円	83万円	
上水道事業	収益的収支	収入	△10万円	4億176万円
		支出	△37万円	3億8,323万円
	資本的収支	収入	182万円	1億140万円
		支出	△218万円	2億6,965万円

(△は減額表示)

◇ 棚倉町議会議員定数調査特別委員会報告

現在の議員定数について調査検討を行なった内容について、照沼義勝定数調査特別委員長より報告がありました。（特別調査委員会の内容につきましては、十二・二十三ページをご覧ください。）

本委員会では、現行議員定数を十六名から二名削減する委員長集約案と、現状を維持する提案があり、採決した結果、二名削減する委員長集約案が賛成多数で決定した旨の報告がされました。

また、委員会においては、少数意見の留保者である鈴木政夫議員より議員定数を現状維持とする少数意見がありました。

なお、議員定数を二名削減とする委員長の報告に対し討論が行なわれました。内容につきましては、次のとおりです。

反対 (3人)

鈴木 政夫 議員

議員定数の上限は当町の場合二十名だが、上限より著しく削減することは町政の健全な運営のためには全く好ましくないとと思う。最大の根拠は、民意が議会に反映されにくくなるという問題である。

また、今回の議員定数調査特別委員会において審議されたが、審議のあり方で、十分な質疑討論がされていない点で、若干問題があったのではないかと思っている。例えば、表決をする際には必ず討論がなくてはならない。もちろん、質疑、討論ともに省略することはありえるが、そのような提起がなかった。

そのような中で委員会の表決は、議員全体の意思が正しく反映されていたのか、私としては疑問が残ったのではないかと思っている。

以上の点を指摘し反対とする。

賛成 (11人)

和知 良則 議員

議員定数調査特別委員会の設置については、本町行政の各分野において行政改革を推進し、財源の確保に努められている実態を踏まえ、現在の議員定数が妥当であるかについて調査研究を行い、望ましい定数のあり方について検討してきた。

委員会では、委員自らが調査してきた内容等をもとに各自調査発表を行い意見を集約し、記名投票により二名削減し十四名の定数を妥当とする案が賛成多数により可決された。

委員会の調査内容の発表においては、棚倉町民の声として二名削減が多かったとの内容が多数であり、これらは民意を重く受け止めた適正な判断であると思われる。

昨今の社会情勢や住民意識を考えると、二名削減は妥当であると考え、委員長報告のとおり採択すべきものとし賛成する。

◇ 棚倉町議会議員定数条例の一部改正

棚倉町議会議員定数調査特別委員会の議員定数二名削減を受け、委員会提案により議員定数条例の改正案が提出され、審議の結果原案どおり可決されました。

また、この条例の適用については、条例施行後の棚倉町議会議員一般選挙からとなります。

人事案件

○ 棚倉町固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、藤田進次さんを選任することに同意しました。

藤田さんの任期は、平成二十二年十二月二十六日から三年間です。



藤田 進次さん(北山本)

みなさんからの陳情

件名	提出者
教育予算の確保並びに施設等の充実に関する陳情	棚倉中学校父母と教師の会 会長 湯座一平 他9名
平成23年度補助金要望について	棚倉町商工会 会長 金澤寛二
高齢者が安心して暮らせる社会を実現するためにシルバー人材センターへの支援の要望	(社)棚倉町シルバー人材センター 理事長 鈴木正美